

9月1日
防災の日

自分で守ろう！地域で守ろう！

災害への備えはできていますか？

問 危機管理課（1階） ☎ 561・2325、FAX 561・6852

自助

「防災の日」は、大正12（1923）年に発生した「関東大震災」後に、「災害への備えを怠らないように」するために制定されました。減災・防災社会の実現に向けて、皆さん一人一人や地域社会とともに取り組みを進めましょう。

災害被害を少なくする「自助」と「共助」

自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」が、災害による被害を少なくするための大きな力となります。

日ごろから、「自分でできること」、「家族でできること」、「近所や地域で力を合わせてできること」などについて考え、話し合いましょう。

地震から命を守るため、部屋の総点検を

大地震では、テレビが飛んできたり、たんすがあなたの上に倒れ掛かってきたりします。また、窓ガラスや食器は、鋭い破片を床一面に広げ、あなたの行く手をはばみます。

●部屋の中に安全なスペースをつくるため、家具の配置を工夫しましょう。

●家具類は倒れないように金属などで固定し、ガラスには飛散防止フィルムを貼るなど対策をとりましょう。

家具の置き方を考えよう

- 家具を固定するのとが一番大切ですが、壁に穴を開けるなど見栄えの問題であったり、抵抗があつたりする人は、家具の配置を考えましょう。配置を変えるだけで、命が助かることに大きく影響します。
- 家具が倒れやすい方向には寝ない
 - 出入り口付近には物を置かない
 - 家具は倒れても逃げ道をふさがないように置く
 - 寝室には家具を置かない
 - 特に高齢者や子どもの部屋には大きな家具を置かない

備蓄はできれば1週間分を!! 準備しておきたい非常持出品

大きな地震が発生し、命が助かった後、被災地には水や食料の物資不足が必ず発生します。市で備蓄用品を確保していますが、限られた数量のため、水や食料など、命をつなぐ備蓄を最低3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう。

また、コロナ禍での感染症対策用品も備蓄しましょう。

非常持出品は家族構成を考えて必要な分を用意し、身近で避難時にすぐに取り出せる寝室や玄関などに保管しておきましょう。

非常用持出品

- 非常食
 - 飲料水
 - 食料品(カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 日用品
 - 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
 - ヘルメット □軍手 □懐中電灯
 - 着替え □毛布・タオル
 - 携帯・モバイルバッテリー
 - 携帯ラジオ・予備電池
 - 使い捨てカイロ
 - ウェットティッシュ □洗面用具など
- ※乳児のいる家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう
- 感染症対策
 - マスク □アルコール消毒液
 - 体温計 □ゴム手袋

共助

地域の防災活動を知ることが大切

現在、市には自主防災組織が204組織(令和3年4月1日時点あり、地域のためにさまざまな活動をしています。地域の訓練などの活動に参加して、自主防災組織の活動がどのようなものか知りましょう。いざという時に隣近所で助け合えることで、災害を乗り切れる確率は格段に上がります。また、自主防災組織活動について、補助金があります。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



地域の活動

平成7（1995）年の阪神淡路大震災では、一番多くの人命を救助したのは地域住民の共助でした。地域の被害を減らすために、地域一丸となって取り組みましょう。

平常時

- 地域の危険個所の調査
- 高齢者や乳幼児など、配慮を要する住民の把握や支援体制づくり
- 防災訓練
- 防災資機材の整備



災害時

- 救助、応急救護、搬送
- 出火防止、初期消火
- 要配慮者支援
- 避難誘導、避難所運営支援
- 情報収集と伝達



防災クイズ

第1問

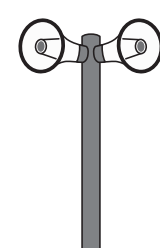
市から避難情報が発令された場合、安全な場所においても、必ず避難所へ避難しなければならぬ？



「避難」とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人が避難すると、かえって危険です。避難情報が発令された場合は、今いる場所が安全かどうか確認してから避難しましょう。また、感染症による被害を防ぐためには、1カ所に集中しない「分散避難」が効果的です。親戚や知人宅などの避難先がないか確認しましょう。

第2問

市での災害情報発信は、屋外スピーカーのみである？



市では、屋外スピーカーを設置していますが、大雨や暴風、屋内などについて内容が聞こえづらい場合などに備え、FMラジオ(85MHz)やフリーダイヤル(0120・119・932)などでも確認できるように取り組んでいます。また、登録制のメールやLINE、市ホームページなどで情報を発信していますので、常に複数の手段で情報収集できるように心がけましょう。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

